# 第7回　土木学会地震災害マネジメントセミナー

# 地震災害のリスク管理と危機管理

## －ハザード評価からマネジメントの実践へ－

近年，内閣府により東海・東南海・南海地震，首都直下地震などの地震ハザード情報が開示されています．また政府の地震調査研究推進本部により「全国を概観した地震動予測地図」が公表され，将来の地震動強度を確率論的に予測した「確率論的地震動予測地図」も利用可能になりました．このようなハザード情報は，地震対策の実施主体にとって，対処すべき地震像を明確化するのに役立つ情報であり，その積極的な活用が望まれます．一方，地震被害の防止軽減に向けて実効性の高い対策を戦略的に推進する方法としては，将来の地震発生の様々な可能性を考慮した「リスク管理」的取り組みと，地震発生を前提とした「危機管理」的取り組みがあり，その両面での対応が重要となります．

このような背景から，今回で第７回を迎える地震災害マネジメントセミナーは，「地震災害のリスク管理と危機管理　－ハザード評価からマネジメントの実践へ－」と題して，地震ハザード評価から，地震リスク評価，事前策の策定・実施，事後対応に至るまでのマネジメント手法を一貫した流れとして解説するとともに，各方面での先進的な事例を紹介することによって，地震災害軽減のための総合的施策の進展に寄与することを目的として企画したものです．

本セミナーは土木学会継続教育CPD　7.8ポイントプログラムです．

主　催：社団法人土木学会
（担当　地震工学委員会・地震防災技術普及小委員会）
後　援：地域安全学会，日本地震工学会，日本損害保険協会
日　時：2006年3月7日（火）　9：30～17：00
場　所：土木会館講堂
（〒160-0004　東京都新宿区四谷1丁目無番地（外濠公園内））
定　員：120名
参加費：会員　7,000円（資料代含む），非会員 8,000円

なお，講演者，発表タイトルについては変更される可能性があります．変更については順次地震防災技術普及小委員会のホームページに掲載していきます．こちらをご確認ください．
http://www.jsce.or.jp/committee/eec2/bousai/7semi.html

申込み問合先：
土木学会事務局研究事業課　今村　TEL　03-3355-3559（内120）

### セミナープログラム

9:30～ 9:40　開会の辞
地震工学委員会 委員長 家村　浩和（京都大学）

■セッション1：　リスク管理　　司会　高原　秀夫（鹿島建設㈱）
9:40～10:40　特別講演1「首都直下型地震対策について」
上総　周平（内閣府）

□話題提供
10:40～11:15　「地震リスク管理と被害評価」
多々納裕一（京都大学防災研究所）
11:15～11:50　「地震動予測地図の作成」
藤原　広行（（独）防災科学技術研究所）

昼食（60分）
12:50～13:25　「地震リスクの定量的評価とその活用」
兼森　孝　（応用アール・エム・エス㈱）
13:25～14:00　「道路行政関係の地震リスクマネジメント・危機管理の取り組み」
日下部毅明（国土交通省）

■セッション2：　危機管理　　司会　馬場美智子（（独）防災科学技術研究所）
14:00～15:00　特別講演2「企業防災と事業継続計画（BCP）」
西川　智　（内閣府）

休憩（10分）
□話題提供
15:10～15:45　話題提供「防災マネジメントによる企業価値向上」
野田健太郎（日本政策投資銀行）
15:45～16:20　話題提供「事業継続計画の事例紹介」
指田　朝之（東京海上日動リスクコンサルティング㈱）
16:20～16:55　話題提供「医療施設の耐震・防災対策」
長澤　泰　（東京大学）

16:55～17:00　閉会の辞
地震防災技術普及小委員会副委員長　大野　春雄（攻玉社工科短期大学）